

# 研究論文の本文以外の作り方 フローチャート編

きむあき

# フローチャート

- 研究デザインの設計図として、
- フローチャート flowchart(流れ図)がよく使われる
- これは計画の流れ(プログラムの流れ)を表している

- 研究デザインの流れを表すだけなら
- いくつかの図記号を使いこなせるようになればよい

# フローチャートの1st step

- ・ 図記号の意味を覚える
- ・ フリーハンドで気軽に描く
- ・ 自分の頭にあるイメージを そのまま図にする

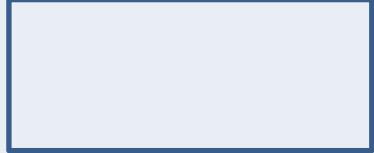
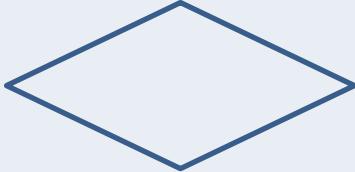
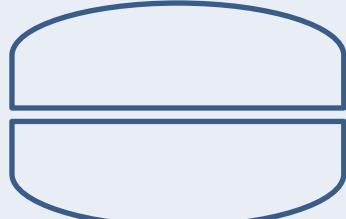
# 研究デザインの流れの3種類

- 順次
- 分岐(処理を選ぶので選択と呼ぶこともある)
- 繰り返し

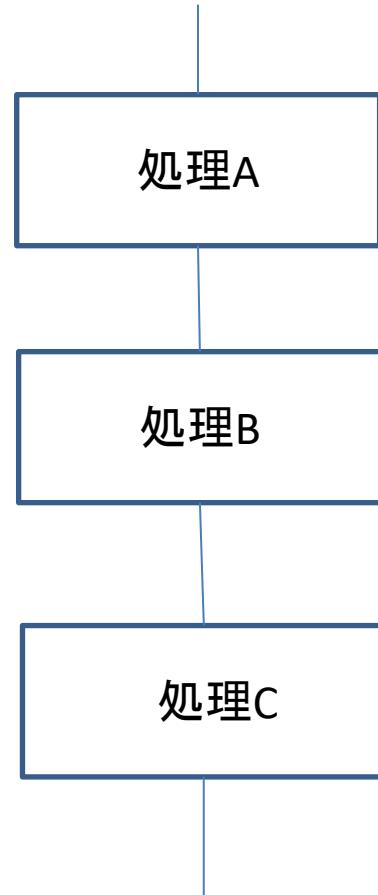
- ほとんどのフローチャートが、これらの3つを組み合わせれば作れる

# 順次の表現

- ・ デザインは基本的に上から下に向かって流れれる
- ・ 順次を表現するのに特殊な記号はいらない

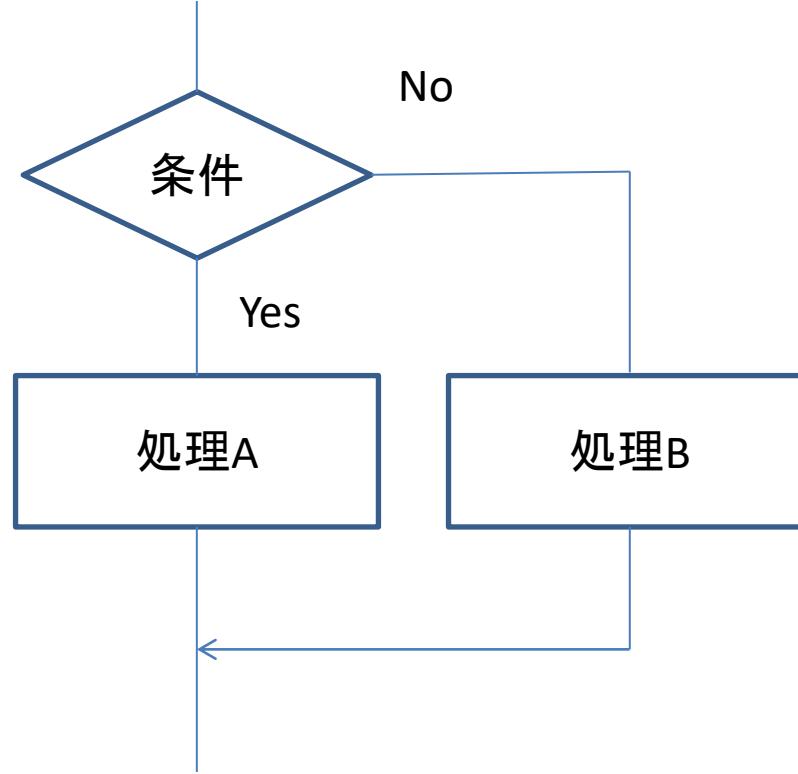
図記号	名称	意味
	端子	プログラムの”はじまり”と”おわり”を示す
	処理	”入力処理””演算処理””出力処理”を示す
	判断	”分岐”の条件を示す
	ループ	2つの図記号で”繰り返し”的範囲を囲む

# 順次



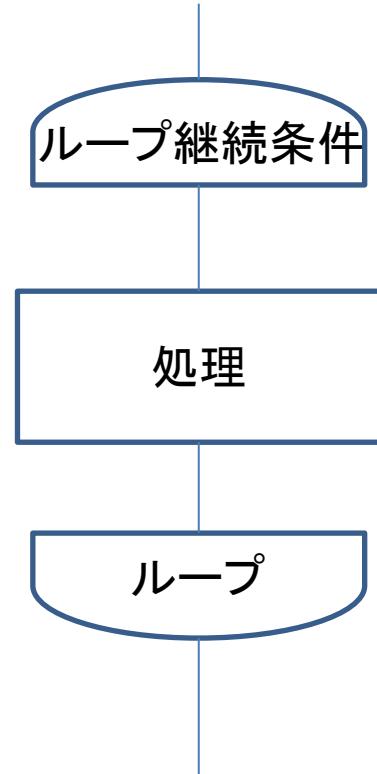
処理A 処理B 処理C の順に流れる

# 分岐



条件がYesなら処理A、Noなら処理Bに分岐する

# 繰り返し



継続条件がYesである限り“処理”を繰り返す

# 研究 デザイン例

